

温湯処理装置

ゆめ 湯芽工房



製品ページはこちら

YS-1000EX
YS-1500EX

「湯芽工房」は、種子伝染性の病害虫を
温湯で消毒します。環境にやさしく、
安全・安心な米作りに貢献します。



とらちゃん



自動搬送システム



YS-1000EX

●省力化 ●シンプル設計 ●省スペース ●液晶操作パネル ●エラー診断機能搭載

■温湯種子処理装置および、水冷装置用クーラーの主な仕様

	YS-1000EX	YS-1500EX
最大処理量	40kg/回	60kg/回
処理能力	200kg/時	300kg/時
周囲温度範囲	5～40℃	
定格電源	湯温消毒機	三相 200V 19.5A
	水冷装置	三相 200V 38A
	給湯器	単相 200V 2.5A
	自動搬送機	100V 1.5A (凍結防止ヒーター作動時3.7A)
ヒーター容量	6kW	12kW
ポンプ容量	単相 200V 150W×4	単相 200V 150W×5
温度設定範囲	湯温消毒機	36～65℃ (0.1℃単位)
	水冷装置	1～25℃ (1℃単位)
給湯器	ガスの種類	LPG
	ガスの消費量	112kW (8kg/時)
外形寸法	幅	5230mm
	奥行	1580mm
	高さ	2590mm

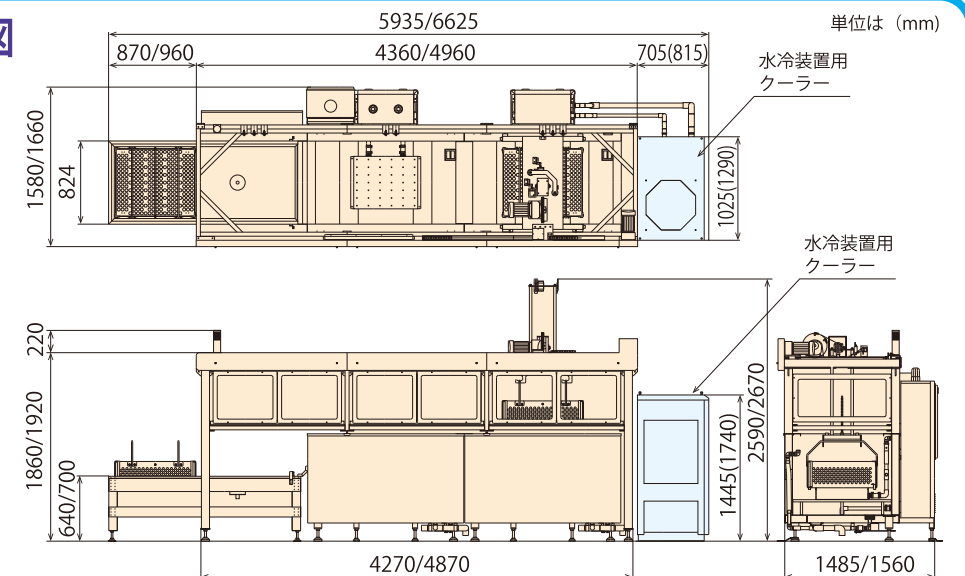
水冷装置用クーラー	
RKL-3750-D	RKL-5500-D
50Hz 11.6kW 60Hz 12.2kW	50Hz 18.7kW 60Hz 20.3kW
5～43℃	
三相 200V 50Hz 18A/5kW 60Hz 20A/6kW	三相 200V 50Hz 24A/7kW 60Hz 27A/8kW
三相 200V 400W	
5～30℃ (0.1℃単位)	
1025mm	1290mm
705mm	815mm
1445mm	1740mm

※製品の仕様およびデザインは改良のため予告なく変更する場合があります。

■YS-1000EX/1500EX寸法図



※ YS-1000EX/1500EXの寸法です。
() 内は、水冷装置用クーラーRKL-5500-D



作業効率を高める オプション

TDS-200

グレイダー付脱芒機

最大処理能力:
200kg/時 (標準100kg/時)
モーター出力:
三相200V/400W (防塵型)



YDK-24
YDK-30
YDK-36

脱水機

脱水能力:
(YDK-24) 25kg/ (YDK-30) 38kg/ (YDK-36) 60kg
モーター出力: 三相200V/
(YDK-24) 0.75kW/ (YDK-30) 2.2kW/ (YDK-36) 7.5kW



HK-1800

袋詰自動計量機

最大処理能力: 1200kg/時
モーター出力: 100V/100W



株式
会社

タイガーカワシマ

本社 〒374-0134 群馬県邑楽郡板倉町大字粉谷2876
TEL 0276-55-3001 FAX 0276-55-3006
ホームページアドレス <https://www.tiger-k.co.jp>



LINE公式
アカウント



公式
ホームページ

最新のカタログは
ホームページから
ご覧ください。

カタログバージョン1

B0102211C1

自動搬送システム

YS-1000EX

処理能力 200kg/時

YS-1500EX

処理能力 300kg/時

温湯種子消毒の工程をすべて自動で行い、
1時間に約200/300kgの種籾を処理できます。
さらに温湯消毒後、冷却された種籾は、
スタート位置まで戻ってくるので
オペレーターはその場所を動かずに
種籾の入れ替え作業ができます。

温湯
60℃10分
種子消毒



特徴

省力化

2台のシステムを並列
設置した場合でも、
オペレーター1人で効率
良く操作できます。

**シンプル
設計**

シンプルに設計された
システムで、低コストを
実現。
メンテナンスも
簡単です。

省スペース

並列配置でも場所を
取らないコンパクト
設計です。

**液晶
操作パネル**

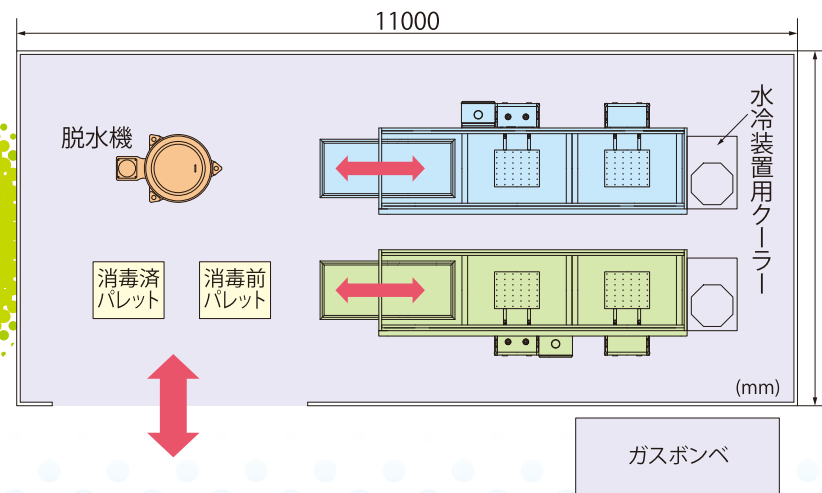
液晶タッチパネルを採用。
パネル上の表示に従って
画面をタッチしていく
だけで簡単に操作を
行えます。

**エラー診断
機能搭載**

異常発生時に原因・対策
を確認でき、安心して
対処できます。

配置例

省スペースで並列配置が
可能です。
オペレーター1人で2台の
システムを操作でき、
作業効率が上がります。

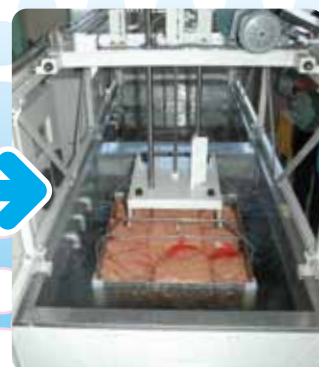


**RKL-3750-D
RKL-5500-D**

水冷装置用クーラー
仕様は裏面参照

作業の流れ

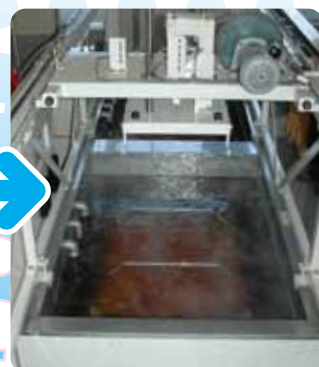
種籾を、
スタート位置へ
準備して



準備された種籾を引き上げ、温湯槽へ



温湯消毒が終了し、冷却槽へ



冷却が終了し、スタート位置へ

環境にやさしく、 安全・安心な米作りに貢献します。



環境にやさしい農業技術が求められる中、今まで種籾の消毒に化学農薬が使われてきましたが、
使用済み廃液の処理問題が指摘され、さらに農産物の安全性向上の観点からも
化学農薬に替る技術が今、求められています。
その中、温湯で種籾を消毒するこの「湯芽工房」の果たす役割は大きいと考えます。

温湯種子消毒とは・・・

農薬を使わずに60℃のお湯に10分間種籾を浸して、種子伝染性の病害虫を防除する技術で、農薬使用と同等の消毒効果と90%以上の発芽率を確保できるとの成果報告が出されています。この技術を多くの方々に確実に簡単に行っていただくため、国や県の試験研究機関と共同研究を進め、実用化した製品が湯芽工房です。

温湯種子消毒のメリットとは・・・

安全・安心の
米作り



種子消毒の段階で使用農薬成分回数を2～3成分削減することができます。安全・安心を求める消費者のニーズに応えます。

環境にやさしい
米作り



農薬を使わない種子消毒のため、農薬の廃液処理等の問題を解消します。地球にやさしい環境保全型農業に貢献します。

コスト削減の
米作り



農薬購入コストや農薬使用後の廃液処理等の費用が発生しません。ランニングコストを低く抑えることができます。

■温湯消毒の注意事項

- 新しく保存状態の良い健全種子を使用してください。
(比重1.13以上のもの、あるいは粒径2.2mm以上のもの)
- 温湯消毒に使う種籾は、必ず水分15%以下の乾籾を使ってください。濡れた種籾で行うと発芽不良の原因となります。
- 1回あたりの処理量は、規定量を厳守してください。入れ過ぎは、消毒効果の低下の原因となります。
- 温湯種子消毒は、60℃10分間を厳守してください。

※品種によっては、60℃10分間でも発芽率が90%を下回る場合があります。不明の品種の場合、普及指導機関等に問い合わせてください。

■温湯消毒後の注意事項

- 冷却後すぐに浸種しない場合は、日陰で十分に乾燥(15%以下)してから保存してください。
(乾燥が不十分だと、カビの発生の恐れがあります)
十分に乾燥後、春先なら通気性のよい温度変化の少ない場所で1ヶ月、15℃以下の低温下で3ヶ月程度は保存できます。
- 温湯消毒した種籾は、化学農薬による消毒と異なり、消毒後の感染に対して無防備です。
消毒後は絶対に病原菌等に接触しないように注意してください。
- 温湯消毒後の種籾を保存のため乾燥させる場合は、消毒済みのシート類を使用してください。
- 温湯消毒した種籾は、きれいな水で十分に浸種してください。2日に1回は水を交換し、水温が高くないように(15℃以下)注意してください。
浸種作業から催芽作業へ進む場合は、必ず水を交換してください。
- 育苗初期までは温度管理に留意し、30℃以上の高温には長時間遭遇させないでください。
- 種子伝染性病害虫には、温湯消毒の効果はありますが、土壌伝染性の病害に対する消毒効果はありません。特に、水田土や山土を育苗土に用いる場合には、防除基準に準じて防除してください。

温湯種子消毒 作業フローチャート

**YS-1000EX
YS-1500EX**

